

我が国のオープンアクセスの概況

【具体的な推進方策】

- 学術論文をオープンアクセスジャーナルで公表（ゴールドOA）
- 学術論文の著者最終稿などをリポジトリで公表（グリーンOA）

【我が国の動向】

- JSPS：科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の制度改正
- JST：電子ジャーナルプラットフォーム「J-STAGE」による支援
学術情報への永続的なアクセスを保证する識別子（DOI）付与の推進
助成研究成果のオープンアクセスの推奨から義務化への移行を検討
- NII：機関リポジトリの構築支援（JAIRO Cloudを含む）
- 文部科学省：学位規則を改正し、博士論文のインターネットの利用（原則、機関リポジトリ）による公表義務化

※文部科学省作成資料

○科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の制度改正

（制度改善の観点）

- ◇ジャーナルの発行に必要な経費の助成
- ◇国際情報発信力強化のための取組内容の評価
- ◇オープンアクセスの取組への助成

【～H24】

- 科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の「学術定期刊行物」
学協会が紙媒体により定期的に刊行するジャーナルの出版に対して助成。



【H25～】

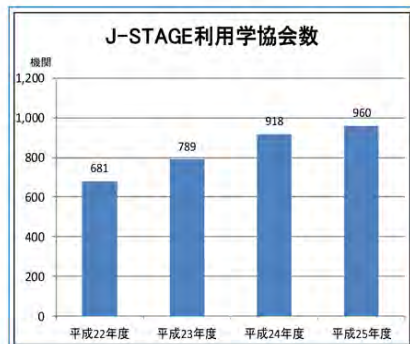
- 科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の「国際情報発信強化」
国際情報発信力の強化を行うための取り組み（査読審査、編集、出版及び電子ジャーナルでの流通等）に必要な経費に対して助成。

※文部科学省作成資料

○J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)

科学技術振興機構(JST)が提供する学協会のための電子ジャーナルプラットフォーム

- 国内約960学会、約1,700誌の論文が掲載されており、その約87%が無料で閲覧可能。
- J-STAGEへの登録は一部のオプションを除いて無料。



(H27.2月現在)

※文部科学省作成資料

国立情報学研究所（NII）においては、大学等の機関リポジトリの開設を促し、学術コンテンツ流通を促進する各種事業やJAIRO Cloudという共用プラットフォームの提供を行っている。オープンアクセスに対する理解増進のためのセミナー開催等、国際学術情報流通基盤整備事業（SPARC Japan）も実施している。また、2013年度の学位規則の改正に伴い、博士論文のインターネット公開が義務化されたことによって、大学等で機関リポジトリの構築が進むとともに、論文の利活用の促進と質の向上という、その役割に対する認識が広がっている。一方で、全般的にオープン化されるコンテンツの充実等の取組は十分に浸透しているとは言えない。

データのリポジトリに関しては、現在、NIIの機関リポジトリ推進委員会において、研究データマネジメントポリシーに関する検討、データリポジトリシステムに関する評価、リポジトリへのデータ登録試行実験（ポリシー、システム、人材育成）、海外動向調査等の活動を開始している。

